



はじめまして



私を



わかって



ください

わかってください

時があります。ほかに、読み書きの際には、他人の手を必要とすることです。

Q 一番安心できる場所は？

A やっぱり自宅です。

Q 楽しみは何ですか？

A デイサービスで行く買い物や、家族と行くハイキングです。友達とおしゃべりしたり、お酒を飲んだり、一般のかたと変わりはありません。

Q 大館市は住みやすいですか？ また、建物・街並みで改善して欲しいことは何ですか？

A まず、できるだけ段差を無くしてほしいです。駅などの公共的な施設には設備エレベーターなどを付けて欲しいです。中心部と郊外の障害者向けの設備に差を感じます。Q 健常者に伝えたいことや止めて欲しいことは何ですか？

A 子供たちが乗る自転車で怖い思いをしたことがあると、ほかの視覚障害者からも聞いています。ぶつかってしまつまで、こちらは全く状況がわかりません。マナーを守って乗ってもらいたいです。

周囲の状況を伝えてください 聴覚障害者へインタビュー

聴覚障害者の状況は、桂城短大で手話を教えている、「自身も聴覚障害者のM先生から伺いました。

Q 聴覚障害の方々が楽しむレクリエーションなどはありますか？

A 久しぶりに集まった時の一番の楽しみは、手話で自由に会話ができることです。普段

聴こえる人たちに囲まれて、コミュニケーションに苦労していますから。ほかは、障害の無い人と一緒で、特別に自分たちだけのレクリエーションはありません。

Q 大館の建物や街並みなどで改善して欲しい点はどこですか？

A 新幹線などについている電光掲示板が公共施設にあれば、聴覚障害者だけではなく、案内放送の聞き取りにくいお年寄りの役にも立つと思います。

Q 困ったことは何ですか？

A 飲食店で注文しても、違う物が出てくることがあります。コミュニケーションのズレは、しょっちゅうあるんです。聴覚障害者側がいくら気をつけても、聴く側に配慮がなければ、残念ですがすぐにズレが起きてしまいます。

Q 大館の手話通訳員の状況はどうですか？

A 東京などの先進地に比べれば、不足していると思います。こちらでは、北鹿福祉事務所所に1人だけで、しかも通常は、月曜日から金曜日の日中に限られますから、必要最小限で我慢しています。

Q バスなどで降車する時の、判断はどうしていますか？

A 慣れた路線であれば、案内放送が聞こえなくても、風景で判断できます。ほかの地域に旅行したときは、バスでは運転手に耳が不自由であることを伝え、前方の座席に座って、近付いた時に教えてもらっています。電車では、降りる駅が何番目なのか記憶し、乗り過ぎないようにしています。

Q 健常者に伝えたいことや止めて欲しいことがありますか？

A 聞こえないと伝えられたら、ためらわず紙と筆記用具を出して、筆談して欲しいです。出来る範囲で良いので、自分の周りに聴覚障害者がいたら、周囲の状況を伝えてくれれば、どれほど助かるか。わずか、1%でも5%でも、教えてください。それがなければ、私たちは全く分かりません。

もっと福祉を話題に

T 「学校や家庭で『福祉』をもっと話題にしてもらえたらいいなあ。」

M 「具体的にはどういうことを？」

T 「例えば、白つえや点字ブロックの意味を知ってもらうことかな。それを知ってもらうことで、福祉に興味をもってくれたらいいだろうな。」

I 「白つえは、目の不自由な人が持っている白いつえで、それを使って周りに障害物がないか、調べて歩行に役立てているんだよ。視覚障害者の目なんだ。点字ブロックってね、あの歩行者専用道路にある、黄色いブロックのことで、目の不自由な人が、それを頼りに歩いているんだよ。」

H 「ということは、点字ブロックの上には、自転車とか車を停めないように注意する必要があるね。」

N 「白いつえを見かけたら、歩行の邪魔をしないよう注意しなくちゃ。」

M 「聴覚障害者の一番の楽しみは、みんなで自由に会話できることなんだね。私たちが